

ペンギンの研究者に インタビュー



わたなべ ゆうき 渡辺 佑基さん

プロフィール

- 岐阜県出身。東京大学卒業、東京大学大学院修了。専門は海洋動物学。
- 第52次、53次、58次南極観測隊に参加。
- 好きなペンギンはジェンツーペンギン。

(2019年7月現在)



どうしてペンギンの研究に興味をもったのですか？
ペンギンの魅力を教えてください。

正直にいうと、極地研に就職する前はペンギンに興味はありませんでした。鳥は好きだったのですが、鳥の魅力は空を飛ぶことだと信じていましたので、南極観測隊員としてペンギンの調査を任されたときは「よりによって飛ばない鳥かよ」と思いました。しかし、実際に南極に行ってみると、真っ白な海氷の上を一列になって歩くアデリーペンギンの姿はとても美しく、また調査自体も面白くて、たちまちペンギンが大好きになってしまいました。



ご自身の研究内容を教えてください。

ペンギンの背中に記録計を取り付ける「バイオロギング」といわれる手法を使って、昭和基地の近くにいるアデリーペンギンの生態を調べています。2010年から2011年にかけてのシーズンには、ペンギンに超小型のビデオカメラを取り付け、ペンギンが海中で魚やオキアミをひょいひょいと捕らえていく様子を初めて映像に収めることに成功しました。最近では、今までに集めたバイオロギングのデータを取りまとめ、アデリーペンギンが自然環境の変動（主に海氷の増減）にどのように反応するのかを調べています。



【南極でペンギン調査中】



子どもたちにむけてメッセージをお願いします。

私が子どもの頃、自分が将来どんな職業に就くかなんてまったく想像が付きませんでした。もしも今、タイムマシンに乗って小学生の頃の私に会いに行き、「お前は将来ペンギンの研究者になるんだよ」と教えてあげたとしても、「ハァ、ペンギン！？ なんやそら」と一蹴されるに違いありません。将来はそれくらい予想できないものですので、いろんな物事に触れ、本をたくさん読みながら、楽しみに待っていてください。